



図2 小学校における災害発生割合

図2は令和4年度に小学校における事故で死亡した事例9件、障害が残った61件について分類したグラフである。死亡事例は9件と昨年度より2件増加している。全身打撲と中枢神経系突然死が多かったことが気に掛かる。全身打撲が起こった原因、中枢神経系突然死では事前に何か兆候がなかったのか、救急車等の手配をしているか、時間的に問題はなかったのかなど命を救う手立てについて検証していきたい。障害が残った事例では全体としては昨年度より20件ほど減少している。場合別では、休憩時間と各教科で約74%を占めている。障害別に見ると、外貌・露出部分の醜状障害と視力・眼球運動障害を合わせると約62%を占めている。学年別で見ると、各学年で同じような割合で起きているという傾向が見られる。毎年のように起こる事故事例を見ると、場合別も種類別も内容と割合はほぼ例年どおりの結果であったということは、さらに事故件数を減らすための手立てがあるのではないかと感じる。